

競技の進め方及びルール

組み合わせと対戦場所

- 1 対戦場所・試合時間とホールでの座席位置は決められていますので、プログラムで確認してください。
- 2 次の試合で競技するチームは、移動アナウンス後、ホール右側の出入口よりステージ右そでへと移動し、待機してください。対戦終了後はステージの左そでに進み、試合が終了したチームは席に戻ってください（階段は使用しない）。
第1試合と第3試合に参加するチームは、第1試合終了後、ステージ裏を通り、ステージ向って右そでで、再度待機してください。

競技ルール

- 1 予選リーグは8分間、決勝リーグは5分間の試合となります。
- 2 競技者は向い合せに、チーム横一列にそろえて座ります。
100枚のかるたを50枚ずつに分け、それをチームの持ち札とし3列に並べます。
- 3 1分間の暗記時間をとるので、並べたかるたの位置をしっかりと頭に入れましょう。
- 4 始めのあいさつをし、読み手の声に従って札を取ります。
次のかるたの上の句が読まれるまでは、お尻をかかどにつけて、手は膝に置きます。
- 5 かるたを取る時は両手を使わないでください。また、読まれたかるたや周辺にある他のかるたを、大きく飛ばさないようにしてください。
- 6 相手チームの札を取ったときは、自陣の札を相手チームへおくります。
- 7 お手つきをすると、相手チームから札が1枚おくられてきます（お手つきの回数分おくられます）。
- 8 自分たちが終了しても、他のチームが競技しているので、静かにその場で待ちます。
“競技終了”の合図があったら直ちに手を膝にします。かるたには決して触らないでください。試合終了の時点で、審判が枚数を確認します。また審判の確認が終わるまでは席を離れないでください。
自陣の持ち札が少ない方、または先になくなった方が勝ちとなります（取った数ではありません）。
- 9 確認が終わったら、審判が競技の結果を話し、終りの挨拶をします。

※自陣の札の配置を途中で変えるのは自由ですが、そのときは相手に伝えてください。

※会場の広さの関係上、一つの試合に多くの面積を取ることができません。

そのため、競技かるた（百人一首）のような激しい取り方は控えてください。

※予選リーグの時、審判は一人で複数の試合を見なければならない場合があります。

そのため、競技者はいつも審判に判断を求めるのではなく、お互いにフェアな態度で札のやり取りを行ってください。

かるたのよみ方

- 1 競技の最初によむ札は、よむ練習なので取らないこと。
- 2 よみ手は上の句をよみ、続けて下の句をよみます。
- 3 札を取るまで下の句をくりかえしよみます。
- 4 次に進むときは、前の札の下の句をよんでから、新しい札をよみます。

予選のルール

- 1 予選はどのチームも2試合行います。
- 2 ブロック内の順位
 - ① ブロック内で勝の多いチームが上位となります。
 - ② 勝の数が同数で2チーム以上ある場合は、引き分けの数が多いチームが上位となります。
 - ③ 勝と引き分けの数が同数で2チーム以上いる場合は、自陣の2試合での合計枚数(残数)が少ないチームが上位となります。
 - ④ ③において、2試合の合計枚数が同数の場合は、直接対決したチームとの枚数が少ないチームを上位とします。
 - ⑤ ④において、それでも同数の場合あるいは直接対決がない場合は、3人によるジャンケンとします。
 - ⑥ 棄権及び不戦勝のチームの残枚数は50枚となります。
例(棄権チーム 50-50 対戦チーム)

選手の代理について

- 1 あらかじめ申込みをしていたチームのメンバーが急病などで来られなくなり、代わりの人が試合に出る場合は、試合の前に係の者に申し出てください。ただし、その人が他の部門にも参加している場合は、予選の試合に参加することはできませんが、そのチームは決勝に進むことはできません。注意してください。